

# 開放機器紹介

## 大型複合環境試験機

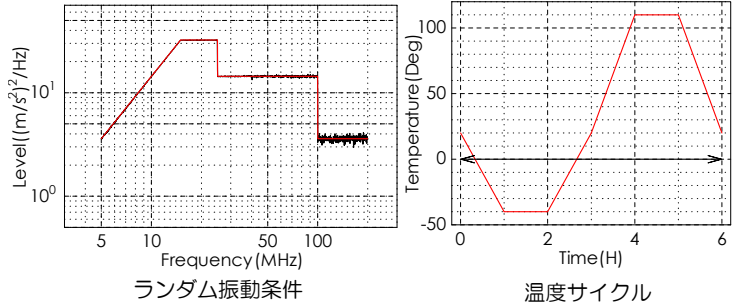
### ■機器の概要

機器や部品に対する信頼性向上や品質評価のための環境試験を行う装置で、温湿度環境と振動環境を組み合わせた試験が可能です。また、単独での振動試験や温湿度サイクル試験も可能です。

### ■活用事例の内容

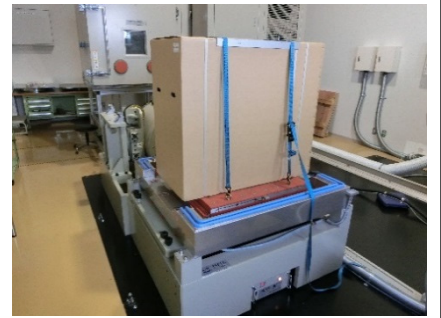
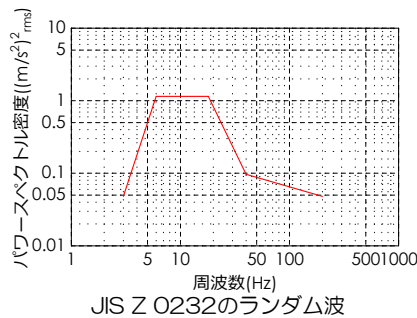
#### 活用例① 複合環境試験

複合環境試験は信頼性を向上させるために実環境により近い環境で試験を実施する。右図は車載機器の使用環境における複合環境試験条件で、温度環境下による振動試験を実施することで信頼性評価が可能です。



#### 活用例② 輸送包装試験

包装貨物の流過程における振動を模擬した試験です。JIS Z 0232を初めとしたランダム振動試験を実施することで包装の品質評価が可能です。



### ■仕様・留意事項

#### 主な仕様

- 試験種類：正弦波・ランダム波振動試験、衝撃波試験
- 最大搭載重量：400kg(治具等含)
- 最大加振力：22kN(正弦波)
- 最大加速度：83G(無負荷)
- 最大振幅\*：60mmp-p
- 最大速度\*：2.3m/s
- 加振周波数範囲：3~2500Hz
- 恒温槽(温湿度度範囲)：-70~150℃、20~98%RH
- 恒温槽(内寸)：W1000×L1000×H1000
- 保有治具：800mmテーブル(垂直)  
200mmサイコロ  
800mmテーブル(水平)

\*複合試験は試験条件により実施できない場合があります。



#### 留意事項

試験品に対応した治具を製作する必要がある場合がありますので、事前にお問い合わせ下さい。

本機器は、「平成24年度補正予算事業 地域産業創出基盤強化事業(中国地域)」により整備しました。

開放機器使用料：1,380円/時間(複合試験) 980円/時間(振動試験)  
7,840円/日(温湿度試験)

担当グループ 電子応用グループ